

## 10. 経営目標設定の考え方

法人名	公益財団法人 大阪府保健医療財団
作成（所管課）	健康医療部 保健医療室 健康づくり課

## ミッション

○精度の高い検診を実施  
府民のがん検診受診率の向上や検診精度向上の観点から、専門性を活かして検診内容を充実しつつ、府民のがんによる死亡率の減少を目指す。

○公益財団法人として自立化  
中小企業に働きかけ、がん・特定健診を実施して受診率の向上と収益の向上につなげる。

■ 大阪府の施策  
・健康づくりの推進

## 基本方針

## 1 精度の高い検診の実施

- ・ 利便性の高いがん検診を提供することにより受診者増を図る。
- ・ モデル検診機関として精密検査未受診者に対し個別通知による受診勧奨等を図る。
- ・ 検診機関が不足している市町村での集団検診の重点実施及び閑散期における検診の促進を図る。

## 2 自立化を目指した公益財団法人の経営

検診機関不足地域での効率的な車検診の実施と、がん検診と循環器健診を併せて行う総合健診を実施し、総合的で実践的な保健指導技法を開発することにより、受診者の拡大を図り、安定的な収益構造を作り上げる。

## 戦略目標と成果測定指標【中期経営計画上の目標値】

## ①市町村等の要望に応え検診車の効果的な稼働と精度の高い検診を実施する。

- ・ 検診車によるセット検診（乳がん・子宮がん）の実施回数  
【78回(H28実績)→95回(H33)】
- ・ 市町村の個別検診の受託件数  
【10市町村(H28実績)→16市町村(H33)】
- ・ 大腸がん（職域）検診の精検受診率  
【69.4%(H28実績)→75.0%(H33)】

## ②受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る。

- ・ 総合健診の受診者数  
【11,711人(H28実績)→15,600人(H33)】
- ・ 休日検診の実施回数  
【0回(H28実績)→24回(H33)】
- ・ 総合健診の収益額 ※H31新規設定  
【259百万円(H30実績見込)  
→294百万円(H33)】
- ・ 施設におけるがん検診の収益額 ※H31新規設定  
【119百万円(H30実績見込)  
→136百万円(H33)】
- ・ がん予防検診事業会計 当期正味財産増減額  
【△95百万円(H28実績)→0百万円(H33)】

## ○ 平成30年度の経営目標達成状況及び平成31年度目標設定表

## I. 最重点目標(成果測定指標)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (H30)	H29実績	H30目標	H31目標	ウエイト (H31)	中期経営計画 中間見直し (H29～H33)		H31目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
						実績[見込]			H31目標	最終年度 目標	
② 受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る。	総合健診の受診者数		人	30	13,663	14,000 [14,955]	15,200	35	15,200	15,600	中期経営計画 H31目標値
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)											具体的活動事項
最重点とする理由、 経営上の位置付け	<p>○当財団は、平成33年度において収支バランスの均衡を図ることを目指した第2期中期経営計画を平成29年6月に策定し(平成31年6月改定予定)、達成に向け事業を進めているが、最重点とした「総合健診」は公益目的事業であるがん予防検診事業の事業収益のうち約32%(平成30年度決算見込・収益の内最大)を占めており、第2期中期経営目標の達成に与える影響が大きい。</p> <p>○また、当財団の設立目的は、府民の死亡原因の上位を占めるがんと循環器の予防を目指した事業を推進することであるが、「総合健診」は、まさにこの目的に沿った事業であり、その推進は府民の健康の保持・増進に寄与するものである。</p>										<p>○トップセールスをはじめ営業活動の強化による新たな契約団体の獲得</p> <p>○平成29年2月に「人間ドック健診施設機能評価」の認定を受け、同年5月には「優良人間ドック・検査施設」として一般社団法人日本病院会及び公益社団法人日本人間ドック学会の連名指定を受けた。こうした認定及び指定をもとに、積極的に各健保組合に営業活動を行う。</p>
最重点目標達成のための 組織の課題、改善点	<p>○受診者数の多い大規模団体が毎年入札を実施しているが、新しい検診機関が参加することにより年々単価が低下している。公益目的事業として健診の質(精度)を確保しつつ、他の検診機関との価格競争を行わざるを得ない環境になっている。このため、一つの大規模団体に頼らない収益構造に転換していくことが必要である。</p> <p>○当財団では多くの団体の検診を受託し、団体の希望に応じた健診メニューを手作業処理しており、業務の効率化が課題となっている。</p> <p>○施設構造が人間ドックのような検査項目の多い健診に対応しておらず、受診者が多くなると各所において待ち時間が発生するため、効率良く受診者を移動させることが課題である。</p>										<p>○顧客の定着を図るためのダイレクトメール等の取組み(過去に受診歴があり直近年受診歴のない方等)</p> <p>○午後検診の実施による受診者の確保(胃内視鏡検診に加え、H31年度から子宮がん検診、総合健診時の特定保健指導等についても追加実施)</p> <p>○検診業務の効率化を図るため、契約に当たってはできるだけ標準的な健診メニューの交渉をする。</p>
活動方針	<p>○第2期中期経営計画において、策定から5年後(平成33年度)の財団のあるべき姿として、</p> <p>①府民をがんから守る、精度の高い検診機関 ②府民の健康づくりを支援する分析・研究機能の発揮 ③経営の自立化</p> <p>を掲げている。全職員がこの目標の達成を目指し、公益財団法人としての使命を認識し、府民の健康増進のため、総合健診をはじめ精度の高いがん検診と循環器健診を推進するとともに、効率的・効果的な検診(健診)を実施することにより、経営の抜本的改善を図る。</p>										<p>○各検診の待ち時間の更なる改善を図るため、受診者毎の検診項目に沿った検診順路別所要時間を想定した検診予約のシステム化を検討する。</p>

## II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウェイト(H30)	H29実績	H30目標	H31目標	ウェイト(H31)	中期経営計画 中間見直し (H29~H33)		H31目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の 場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						実績[見込]			H31目標	最終年度 目標		
① 市町村等の要望に応え検診車の効率的な稼働と精度の高い検診を実施する	検診車によるセット検診(乳がん・子宮がん)の実施回数		回	15	81	83 86	89	10	89	95	中期経営計画のH31目標値	・市町村が検診計画を作成する前に、実施可能であることのPRを行う。 ・午前中から子宮がん・乳がんのセット検診を実施することにより、受診者の増加を図る。
	市町村の個別検診の受託件数		件	15	12	13 13	14	10	14	16	中期経営計画のH31目標値	・個別検診の意向のある市町村に対し、積極的な働きかけを行う。
	大腸がん(職域)検診の精検受診率(精検受診者数/要精検者数)		%	15	70.4	71.0 [71.8]	72.0	10	72.0	75.0	中期経営計画のH31目標値	・未受診者への個別の受診勧奨の一層の推進と、他の検診機関での受診状況の把握の徹底を行う。
② 受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る	休日検診の実施回数		回	10	5	17 17	22	10	22	24	中期経営計画のH31目標値	・土曜日の子宮がん・乳がん検診の実施、オプション検査の拡大について、市町村等へのPRを積極的に行う。 ・女性医師の確保に努める。

## III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

② 受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る	総合健診の収益額	☆	百万円	-	(255)	- [259]	283	10	283	294	中期経営計画のH31目標値	・人間ドック健診等収益率の高い総合健診(特定保健指導受診勧奨等)の増加を図ることに により経営状況の改善を図る。
	施設におけるがん検診の収益額	☆	百万円	-	(108)	- [119]	132	5	132	136	中期経営計画のH31目標値	・府民のがんの早期発見に寄与し、精度の高い各種がん検診を実施する。 ・胃・大腸・乳・子宮及び肺がん検診受診者の増加を図ることに により経営状況の改善を図る。
	がん予防検診事業会計 正味財産増減額		百万円	15	△ 38	△ 30 △ 30	△ 24	10	△ 24	0	中期経営計画のH31目標値	・収益確保のための取組みとして、総合健診受診者数の増、検診料金の改定(H31.4.1)、休日検診の実施、オプション検査の拡大、午後検診枠の拡大、車検診の効率的運営を図る。 ・経費削減の取組みとして、検診車の見直し(胃がん検診車1台廃止、肺CT車1台返還)、常勤職員の更なる活用、入札や価格交渉による支出額削減、医療材料費の削減、時間外手当の削減を図る。

### 【凡例】

- ・☆はH31年度からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・( )内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

## CS調査の実施概要

## ○平成30年度の実施結果

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
大阪がん循環器病予防センターにおける健（検）診の満足度	受付で調査票を配布し、受診者が自書のうえ回収箱に投かん。	・車検診受診者（8市町） （胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん）	548人（100%）	平成30年10月9日～10月19日

実施結果の主な内容	実施結果を踏まえた取組	H31年度にめざす状態
<p>・受診者は40歳以上が全体の94.4%を占めており、世代別では60歳代が28.0%、70歳代25.5%、40歳代23.3%、17.6%となっている。性別では女性（胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん）84.7%、男性（胃がん、肺がん）15.3%。</p> <p>・受診した健（検）診で胃がん検診受診者が最も多く、受診者全体の39.7%を占める。また、毎年受診しているが最多で受診者全体の53.7%を占める。</p> <p>・検診スタッフの言動と態度については、満足90.1%、ほぼ満足5.3%を合すると95.4%を占めており、一昨年（H28）から0.8ポイント増加した。</p> <p>・診察、検診等の十分な説明については、満足90.6%、ほぼ満足4.8%で、合わせて95.4%で、前回に比べ0.5ポイント減少した。</p> <p>・検診にかかった時間については、「思ったより早く受診できた」61.2%、「普通」30.4%、「思った以上に時間がかかった」8.4%となった。「思ったより早く受診できた」が一昨年より3.5ポイント減少し、「普通」1.1ポイント、「思った以上に時間がかかった」が2.4%それぞれ増加した。車検診については、実施場所毎（8市町）に検診動線が異なることや受付対応（8市町）との連携などが検診時間に影響したものと考えられる。</p> <p>・次回もセンターを受診したいと思うかについては、90.8%の受診者が「次回もセンターを受診したい」と回答、「いいえ」と回答した受診者は0.7%でした。</p> <p>・当センターに対する要望、改善点については、「診察、問診、説明」、「待ち時間」、「対応、受付」の順に改善を望む声が多かった。41.0%は「感謝・満足・励まし」と回答。</p>	<p>・アンケート結果を職員に周知し、各所属において満足していない原因について認識するとともに改善方策について討議を行い、改善できるものについては、直ちに対応した。（契約市町村との連携を密にし、受付・問診業務をよりスムーズに対応することで待ち時間の短縮に繋がった。）</p> <p>・今後の車検診の参考となるよう、車検診調査協力8市町へもアンケート調査結果について情報提供・共有した。</p>	<p>・個別に記述された意見等を分析し、改善点に結び付けていくとともに、引き続き満足度を高めるよう努力する。</p>

## ○平成31年度の実施方針

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
大阪がん循環器病予防センターにおける健（検）診の満足度	受付で調査票を配布し、受診者が自書のうえ回収箱に投かん。	・施設検診受診者	約500人	平成31年10月

法人名

公益財団法人 大阪府保健医療財団

## ■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

（※大阪府から成果測定指標の変更を提示した場合は除く）

〔1〕

## ●変更前

H30年度の成果測定指標	単位	H30年度の目標値
-		-

## ●変更後

H31年度の成果測定指標	単位	H31年度の目標値
総合健診の収益額	百万円	283

### 成果測定指標の変更（廃止）を希望する理由

・「総合健診の受診者数」については、2年連続で目標達成が見込まれるものの、がん予防検診事業収益が中期経営計画の目標値に届いていないことを踏まえ、収入に連動する指標を追加することとし、同事業収益の約30%を占める総合健診収益額を新たに指標として設定することで、収益の確実な確保につなげたい。

〔2〕

## ●変更前

H30年度の成果測定指標	単位	H30年度の目標値
-		-

## ●変更後

H31年度の成果測定指標	単位	H31年度の目標値
施設におけるがん検診の収益額	百万円	132

### 成果測定指標の変更（廃止）を希望する理由

・がん予防検診事業収益が中期経営計画の目標値に届いていないことを踏まえ、収入に連動する指標を追加することとし、同事業収益の約15%を占める「施設検診におけるがん検診収益額」を新たに指標として設定することで、収益の確実な確保につなげたい。